

Member:



Fun = 楽しい  
自分たちが笑顔で働き、日々新しいことにチャレンジしている社員の姿、イキイキ楽しんでいる広研印刷を知って頂きたく、CI委員会ではブログと、このPR誌、『FUN』を通して情報発信しています。

楽しい企画を創造するには、まず自ら楽しくなければ、お客様を楽しませることもできません。『楽しい』は価値であり、価値を生む原動力でもあります。『楽しい』から生まれる創造にご期待ください。『お客様に安心と満足をお約束し感動をお届けする』

ことを目指します』広研印刷の経営理念です。スポーツ選手でも芸術家でもない私たちがお客様に感動していただけるにはどうしたらいいのか私達は日々考え行動し、新しい感動を創造していきます。  
CI委員会

Corporate Identity



Corporate identity

ISSUE No  
07

こんにちは CI 委員会です。過去 4 回の開催を通して、BABA-BASE で多くのお客様に体験いただいていた「やってみようえほん展」。

このコンテンツを「本大好き企業」として、もっと多くの子もたちと共有したい...! という思いから、BABA-BASE を初めて飛び出して、豊島区と「JimoKids」が主催する子ども向けのワークショップイベント「としまっ子フェス」に協賛出展してきました。

歴史ある場所での素敵なイベントで、やってみようえほん展も一日で 81 組、226 人の方々に楽しんでいただきました。その様子をお伝えします!

としまっ子フェス × 広研グループ  
豊島区のまちづくりに



広研グループはこれまで「としま MONO づくりメッセ」への出展や「豊島区中小規模公園活用プロジェクト」との協業などを通して、豊島区の文化形成やまちづくりに積極的に参加してきました。そんな背景があり、としまっ子フェスへの参加をご紹介いただきました。

そして「としまっ子フェス 2024」への協賛をきっかけに、自社だけの取り組みにとどまらず、豊島区や製造業を生業とする企業の一員として、モノづくりの輪をさらに拡げていきたいと考え、出展することを決めました。

### 会場は重要文化財 [ 自由学園明日館 ]

会場となったのは、世界三大建築家の 1 人、フランク・ロイド・ライトが 1921 年に設計した自由学園明日館。

美しい幾何学的な窓が特徴的な、温かみのある木造の建物です。



フランク・ロイド・ライトの建築作品の中には世界遺産として登録されてい



## 子ども向けワーク【としまっ子フェス 2024】に やってみようえほん展が協賛出展してきました!

るものもあるほどの巨匠ですが、アメリカ以外にその建築物がある唯一の国が日本。日本に現存する建築作品は 4 つで、そのうちのひとつがこの自由学園明日館。



自由学園の校舎として作られたこの建物は、1997 年に重要文化財として指定され、改修工事をしながらも、「建物は使ってこそ維持保存ができる」という考え方のもと今でも、結婚式やイベントの会場として大切に使われているそうです。

今回のとしまっ子フェスでは 1 日で、小学生低学年以下の親子を中心に、約 1,020 名が来場しました。

100 年前は学校として使われ、形を変えつつも愛されるこの場所で、多くの子もたちと集まり一緒に手を動かす、なんてちょっと考えさせられるものがあるかもしれませんか?



### イベントに合わせた やってみようえほん展

としまっ子フェスでは、えほん展の他にも 30 件以上の企画・ワークショップが楽しめます。

「せっかくのイベント、他にも色々なワークショップを体験してもらいたい」

という思いもあり、今回のイベントや場所に合わせて...ただ、えほん展で伝えたいことはちゃんと伝わるように...と打ち合わせを重ね、プログラムをコンパクトに調整してお送りしました。



綿密な打ち合わせの様子

初めて BABA-BASE ではない場所での「やってみようえほん展」。いつもはもっと広い場所で、時間もたっぷり使ってもらえて、材料の予備もたくさん用意しておける、という環境でやっているところから、初のアウェイ戦。そしていつもとは勝手の違うイベント出展。不安を抱えながら迎えた当日...ドキドキでした。しかしその後すぐに満員に!

「高田馬場にこんなイベントがあったんですね」と言ってくださる方がいてイベントに出たことによって新しい出会いがあったことを実感でき、本当に嬉しかったです!さらに「最初のえほん展から全部来てる、次もいく!」と自慢気に言いに来てくれた子も。

いつもと違う会場でも来てくれるようなファンもちゃんとしてきていたことを感じました。やってみようえほん展 in としまっ子フェスは大成功!



来てくださった方々、本当にありがとうございました。

出張やイベント出展、チームビルディングなど、今後もシーンに合わせたえほん展を行っていきたくと考えています。

少しでも興味を持っていただけたら、仲間になりたい方がいらっしゃいましたら、お気軽にお声がけください!

前川社長も応援に駆けつけてくださいました!



前川社長も応援に駆けつけてくださいました!

### イベントでは、 他にもさまざまなワークショップが

芝生の上にダンボールの街づくり。豊島の街を編み物で包むプロジェクト。ハンカチマーブル染め体験。自由学園明日館のイラストが可愛すぎるシルクスクリーン体験...

SDGs やものづくりなど、同じような想いをもつ企業・団体様と関わる機会は大きな刺激となりました。



芝生の上にダンボールの街づくり

次の企画に向けてのアイデアも見つかりそうです!以上、やってみようえほん展 in としまっ子フェスのご紹介でした。



新入社員レポート



総務部の北城さん

辻：よろしくお願いします!お忙しいと思いますが今日は大丈夫ですか?

北城：パソコンの入れ替え作業があって、ちょっとパタバタしていました笑

辻：大変そうですね。そういうのにはお詳しいんですか?

北城：いえいえ。前職ではSE だったこともあります。基本的には人に聞いたり、自分で調べたりして対応しています。

辻：そうなのですね…。ほかには今、どのようなお仕事をされていますか?

北城：いまは入退社される方の手続きや申請業務、採用面接の準備、光熱費の管理などを担当しています。

辻：総務のお仕事は初めてかどうかでしたが、どうですか?

北城：受付の経験はあるのですが、それよりも気にしないといけないことや、急なタスクが多くて、周りに助けていただき、なんとかこなせているという感じです。

辻：私も営業内勤なのでよくわかります…。同時にやるべきことが沢山あったりするとありますが、なにか Todo リストみたいなものを使っていますか?

北城：はい、desknet's (社内で使用して

いる業務管理システム) や、日報をリスト代わりにしています。

辻：工夫されていますね。いま不安なことや、難しいなと思ってることはありますか?

北城：まだ 3 か月くらいなので…。もっと他部署のことを知りたいとは思っています。

辻：総務は全社員と関わりがあるものの、実際にどこの部署が何をやってるかは意外と知らないかもしれませんね。

北城：そうですね!あと、どんな印刷物を作っているのかも実はまだよく把握できてなくて…他部署のお仕事を知ることができたら、よりモチベーションや、やりがいにつながりそうな気がします。

辻：CI 部員として、社内コミュニケーション強化に努めないそうですね。これからの展望みたいなものはありますか?

北城：総務は少人数なので、一人で回せる仕事を増やせたらいいなと思っています。

辻：会社を支えるチームとして、これからも頑張ってください!ありがとうございました。しっかりした受け答えと、他部署のことに興味を示して聞いてくれる積極的な姿が印象的な北城さんでした!

スキャナーチームの山本さん

辻：よろしくお願いします!画像の変換や補正作業を行う「スキャナーチーム」に配属されていますね。

山本：はい、そうですね。

辻：スキャナーチームに新人さんが入るのはかなり久しぶりです。前職で写真のお仕事をされていたんですか?

山本：プライダル関係でした。もともと情報系の専門学校に通っていて、授業で一眼レフに触れ、写真を撮ることの楽しさに目覚めて、ずっと関わっている感じです。

辻：今回は広研に入社されて、印刷業として写真と向き合うことになったんですね。

山本：はい。印刷業としてデータの取り扱いから照明、用紙、印刷機など、幅広い知識をもって多面的に写真を見る必要があります。勉強が欠かせない毎日です。

辻：入社する前と後で、印刷業に対するイメージの変化はありましたか?

山本：入社前は、何事もミスが許されない厳しいお仕事というイメージでした。

辻：重大な誤植や印刷ミスはニュースになったりしますからね。

山本：でも、ミスしてもきちんと理論的に間違っている箇所を教えていただき、次に繋げることができ、いい環境だなと感じています。

辻：山本さんの前向きな気持ちが教える側にも伝わっているんでしょうね。日々のお仕事の中で感じることはありますか?

山本：教えてもらいながらやっていると、すごいな、面白いなと感じることがあります。時には、何度もプルーフを出しても見本に色が合わなかったりして、「うわ〜どうしよう〜!」ってなることもあります笑

辻：スキャナーチームは困ったときの相談相手でもありますからね…。

山本：あとは、印刷用語が難しいですね。同じ意味を指しているにもよってちがう用語を使っていたりして。

辻：たしかに、色の指示は特に記号があるわけではないので、フワツとした指示が多くて悩みそうですね…。

山本：いつも悩みまくります。よく上司に聞いています。「この指示はこういう意味だよ」と教えてくれるので、安心して作業ができています。

辻：ベテランの上司、心強いですね。山本：私も知識を身につけて、どんな依頼も対応できるように頑張っていきたいです。

辻：これからたくさんお世話になります。今日はありがとうございました!

明るい笑顔と勉強熱心な姿勢が素晴らしい山本さんでした!



エントランススペースの活用

本社一階のエントランススペースがあまり使われていないことに着目し、弊社の発信の場として再活用するために、リニューアル計画が始動しました。まずは、CI 委員会の部員全員で現場を確認。どのような空間にしてくか、イメージを具体化していくことにしました。



CI委員会でエントランススペースをみている様子

情報発信と情報交換  
ホスピタリティの場に

コンセプトは「情報発信と情報交換 ホスピタリティの場」です。

広報誌 FUN などのトピックスをエントランススペースで展示することで、広研印刷の情報発信の場にすることと共に、展示物をきっかけとしたお客様との情報交換の場にしようと考えました。なお、リニューアルに伴って、家具も一新することに。

どんな空間にするかラフを書き、イメージに沿って温かみを感じるウッド調のラック

エントランスの床の色味に合わせたベンチなどをピックアップ。さらに、大きな窓ガラスと相性の良い観葉植物もピックアップして社長の承諾を頂くために企画書を作成しました。

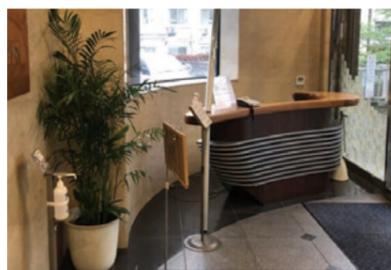
社長へ行ったプレゼンは無事承認を頂き、本格的にリニューアル作業がスタート!



社長へプレゼンをしている様子

部員全員で大掃除!

弊社にも過去に受付嬢がいた名残で、エントランスには受付カウンターが設置されていましたが、これらを業者に依頼して撤去してまっさらな状態に。



受付カウンター

次に、床や大きな窓付近など長期間蓄積された汚れを隅々まで部員でピカピカに掃除しました! スッキリした空間に最後は、届いた観葉植物や家具をイメージラフをもとに配置していきます。

マガジラックに委員会で制作している広報



エントランスの掃除をしている様子

誌『FUN』を並べて、ラックのまわりには観葉植物と配置。大きな窓から差し込む光と観葉植物の緑、ウッドを基調とした家具で、お洒落で落ち着く空間にリニューアルすることができました。

社員の皆さま、ご来社される皆さまにとって交流できる場として使用頂けたら嬉しいです!

企画書を  
広報技術研究所に  
制作して頂きました  
ぜひ、ご覧ください!



リニューアル後のエントランス

